

みんなで協力ベンチ手づくり

蒲郡 中学生らが「籠目結び」



製作リーダーの金城学院大の石橋さんを中心
に中学生も交じって作業を進めていく＝蒲郡市形原町の形原公民館で

蒲郡市の西浦シーサイド
ロードに設置されるベンチ
の製作が2日、同市形原町
の形原公民館であった。同
町のロープ製作会社が提供

した直径3メートル以上のロープ
を使い、地元の中学生10人
ら計30人が参加した。ベン
チの除幕式は今年20日。
ベンチは丸五製綱所と稲

葉製綱が提供したロープを
使い、環境デザインなどを
学んでいる金城学院大生活
環境学部の弓立順子教授の
ゼミ生がデザインなどを担
当。設置されるシーサイド
ロードにヤシの木が林立し
ていることにちなんで、高
さ45センチ、直径60センチの
実をイメージしたベンチに
決定した。

この日はベンチ5脚を作
ることに。40センチ以上のロー
プを水引などで用いられる
籠目結びの要領で作業を進
めていく。参加者は手袋を
つけてしっかりと握り、絡ま
せ、引っ張り、ねじ込んで
いく。組み方が甘いと失敗
する。途中で「あ、これ違
うかなあ」などと話し合う
場面もあった。

製作リーダーの同大4年
石橋果椰さんは「重労働だ
ったが中学生の皆さんがロ
ープに興味を持って作業し
てくれたのがうれしかっ
た」。形原中3年足立宙大
さんは「体力的にはつらか
ったけど、みんなで協力し
ているときは楽しかった」
と満足げ。

丸五製綱所の間瀬有実子
社長は「籠目結びには、災
いがかごの目から抜けるよ
うにという厄よけの意味が
込められている。さすが老
朽化した時、きょう参加し
てくれた中学生が率先して
直してくれれば、すごいこ
れしい」と話した。

(伊東誠)